『いまここカフェ』通信 vol. 4

令和2年12月発行 発行元/千葉県若年性認知症専用相談窓口

* 若年性認知症カフェ 『いまここカフェ』のご案内

『いまここカフェ』は千葉県内の 若年性認知症の人と家族のための つどいの場です。

出会いの場

きっかけ作りの場

安心して話せる場

多くの方が参加しやすいように

千葉県内のあちこちでの開催をめざしてきました。今年度はコロナ禍により、オンライン開催にも取り 組んでいます。(昨年度の開催場所や内容は、『いまここカフェ』通信 vol.1 をご覧ください。)

『 第2回 オンライン いまここカフェ 』 開催します

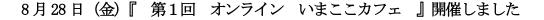
【日時】令和2年12月23日(水) 午後3時~4時

*午後2時30分から、直前ZOOM練習会、動作確認などを実施します。

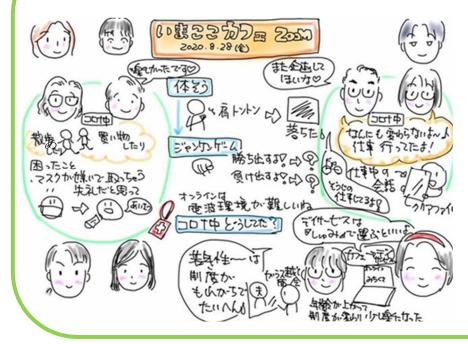
【内容】 今回は「安心できる場所ってどんな場所?」を題材に、おしゃべりを楽しむ予定です。

【注意事項など】

- ・申し込み制です。初めての方は最初にコーディネーターがお話を伺います。
- 当日パスワードをメールでお送りします。
- ・通信料がかかる場合がありますので、Wi-Fi 環境をご確認ください。
- ・他者が本人の了解を得ずに個人が特定される内容をお話しすること、認知症をもつ本人や家族が不快に感じる発言等。・当日の様子を録画、撮影、保存すること等は禁止します。



終了しました



自己紹介と近況報告、簡単なゲームをしました。初めての ZOOM でフリーズやハウリング、電源落ちなどご迷惑おかけしました。

顔をみながら話せることは、本当に「楽しい!」「嬉しい!」と実感しました。左の絵は「グラフィックレコード」と言い、会の様子をイラストにしたものです。【外部スタッフの稲田玲子さんが描いてくださいました。】

『 若年性認知症の親をもつ子ども世代 』の方からの相談もお待ちしています

若年性認知症の推定発症年齢の平均は 51.3 ± 9.8 歳(「若年性認知症の実態と対応の基盤整備に関する研究」平成 21 年 3 月厚生労働省)です。

若年性認知症専用相談窓口には、「子ども世代」の方からの相談もあります。最初は、親が若年性認知症ではないか?と心配したり、医療機関や制度、介護などの相談です。何度かお話しするうちに「こども世代」の方ご自身のことや仕事と介護の兼ね合い、経済的なことや将来への心配などの話しが出てくることがあります。

また、若年性認知症と診断された人から、お子さんについての相談を受けることもあります。

そして若年性認知症の「子ども世代」の中でも、ヤングケアラー、若者ケアラーと言われる人たちがいます。日本ケアラー連盟のホームページhttps://carers.japan.jimdofree.com/から紹介します。

◎ヤングケアラー (子どもケアラー)

家族にケアを要する人がいる場合に、大人が担うようなケア責任を引き受け、家事や家族の世話、介護、感情面のサポートなどを行っている、18歳未満の子どものことです。ケアが必要な人は、主に、障がいや病気のある親や高齢の祖父母ですが、きょうだいや他の親族の場合もあります。

◎若者ケアラー

18歳~おおむね30歳代までのケアラーを想定しています。ケアの内容は子どもケアラーと同様ですが、ケア責任がより重くなることもあります。若者ケアラーには、子どもケアラーがケアを継続している場合と、18歳を越えてからケアがはじまる場合とがあります。



昨年度3月に若年性認知症専用相談窓口が企画していた「子ども世代のつどい」はコロナ流行のため中止となりましたが、今後オンラインでのつどいも検討中です。ぜひ、ご相談ください。

編集後記

昨年12月の「いまここカフェ」を振り返ってみると、幼稚園児と一緒にクッキングやゲームをしたり、本人家族の交流をしたり。自由で楽しく、穏やかな時間を過ごしていました。「いまここカフェ」の基本的な考え方は"出会いの場""きっかけ作りの場""安心して話せる場"です。このような"人と人とのつながり"を途絶えさせたくなくて今年の12月は「オンラインいまここカフェ」に形を変えて開催します。ちょっと顔を合わせるだけでも、ほっとすることもあると思います。聞いているだけでも構いません。ぜひ、ご参加ください。また「いまここカフェ通信」への皆様のご意見ご感想もお待ちしております。皆様、よいお年をお迎えください。

千葉県若年性認知症専用相談窓口(相談・申し込み)

TEL 043-226-2601 (月・水・金 9 時~15 時 祝日・年末年始除く) FAX 043-226-2738 若年性認知症 千葉県

